

リノベーションした「アキュラホーム宮原展示場」を4月29日オープン

～ お客様に永代住み継ぐ理想の家を提供したいアキュラホームは、家もモデルハウスも大切にします～

木造注文住宅を手がける株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区 社長:宮沢俊哉)は、2011年3月より、既存の同社モデルハウスに関しては建て替えを行わず、リノベーション・大規模リフォームしていくことを方針といたしました。1 その第1号となる「アキュラホーム宮原展示場」(埼玉県さいたま市)を、4月29日(金)にオープンいたします。

アキュラホームは、“古くなったモデルハウスは建て替える”という従来の考えを進化させました。

当社は創業以来、“高品質の住まいをより多くのご家族に、無理のない価格でお届けしたい”という思いから、設計・施工から流通・販売に至るまで様々な無駄を徹底的に排除し、日本の住宅価格の適正化に努めてきました。また品質においても研究を続け、多方面から評価をいただいています²

そうしたなか、当社が新たに取り組むのは“モデルハウスのリノベーション”です。

これまで日本の住宅の資産価値は30年といわれ、“スクラップ&ビルド(古いものを取り壊して新築を建てる)”という考え方が一般的でした。しかし昨今は、住まい手の価値観の変化や国の「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が制定されるなどし、“良い家を建ててメンテナンスしながら住み継ぐ”“建て替えずリフォームやリノベーションする”ことへの消費者の関心が高まっています。

当社は2代3代と住み続けられる長期優良住宅を標準仕様としており、『家守り活動』を通して時代とライフステージの変化に対応し、“一度建てた家に愛着を持ち永代住み継ぐ家づくり”を提供しています。今回モデルハウスのリノベーションを行うことによって当社のその思いを具現化していきます。

1 状況によって、リノベーション・大規模リフォームを行わない場合があります。

2 デザイン性や技術力が評価され、2005・2006・2008・2010年にグッドデザイン賞を受賞、国土交通省が実施した「住宅・建築物省CO2推奨モデル事業」に採用、(財)建築環境・省エネルギー機構より環境共生住宅システム供給型認定を受ける等。

アキュラホームの『家守り活動』

当社は、家だけでなくそこに住まうご家族が幸せであることこそが、我々づくり手の使命と考えています。何世代にも渡って住み続けられる「長期優良住宅」を提供するとともに、お引き渡し後もお客様が安心して暮らせるよう、ホームドクターとしての保守・点検、家族構成の変化に伴うリフォーム、入居者向け講座など地域に密着した活動を行っています。2010年から社長を始め、役員と全従業員でお客様宅を定期的に訪問。2011年からは、新規モデルハウスにセミナーや講座を開催するための広い空間を設けることにしています。



< 宮原展示場 >

～環境に配慮した「エコ仕様の住まい」～

OPTIS 住み継ぐ家 長期優良エコ住宅 めぐる

所在地: 331-0813 埼玉県さいたま市北区植竹町 1-816-1 (大宮北ハウジングステージ) / 営業時間: 10時～6時(定休日なし) / 構造: 木造2階建て / 延床面積(事務所を含む住宅部分): 219.00㎡(66.24坪) / 仕様: 太陽光発電を設置した長期優良住宅

詳細は2頁以降に記載しています

当社は宮原展示場のリノベーションを皮切りに、今後総合展示場でのリノベーション、大規模リフォームを必要に応じ行っていきます。モデルハウスがモデルとなって2代3代続く長期優良住宅を実証することで、新築をご検討されるお客様に当社の考える“理想の家づくり”をお伝えし、木造住宅の優位性を見出していきたくと考えております。全ての既存モデルハウスを対象とする方針を打ち立てるのは住宅業界では異例であり、将来はリノベーションコストを新築の3分の1に抑えることを目標としており、培った研究技術は全国の工務店ネットワーク JHABnet(ジャブネット)へも発信してまいります。

< 本件について報道関係からのお問い合わせ先 >

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・若林 Email: horikosi@aqura.co.jp

住所: 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL: 03-6302-5010 (直通) FAX: 03-5909-5560

写真データは右記よりダウンロードすることができます。 <http://www.aqura.co.jp/news.html>

宮原展示場概要

～環境に配慮した「エコ仕様の住まい」～ OPTIS 住み継ぐ家 長期優良エコ住宅 めぐる

夏の日射しを遮蔽する軒の出や通風を考えた間取りなど、私たちの暮らしに根づいた「先人の知恵や工夫」と「現代の環境技術」を融合させた住まいです。また、木質感あふれる外観は日本古来の伝統美を大切にしたい住まいです。

今回ライフスタイルの想定として、家族構成が夫婦（夫32歳 妻30歳）子ども2人（長女5歳 長男2歳）の4人家族が家を建てた20年後、娘（25歳）は結婚し家を離れ、夫の母親が高齢ということで近い将来同居を予定。また、妻は日中にお料理教室を行うなど家族それぞれの要望を考慮したりノバージョン。

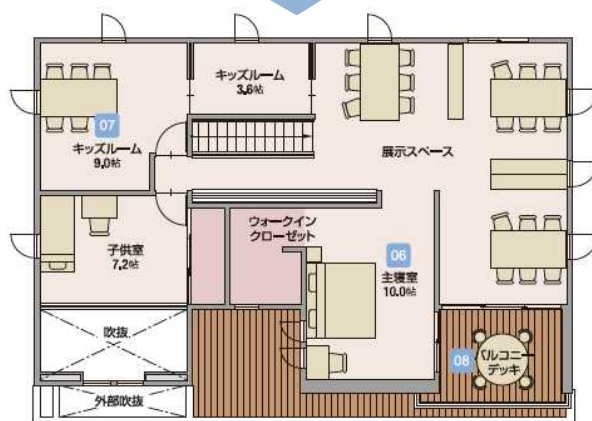
Before（20年前）

1F

2F



after（今回）



間取りの特徴

開放的で作業しやすいキッチン

LDK全体が一つの大きな空間として使えるオープンキッチンを採用。料理をしながらリビングを見渡せます。

吹き抜けのある明るいリビング

南面上部が吹き抜けになったリビングは、天井の高い開放的な空間。明るさを確保し、家族の集まるコミュニケーションの場に。

機能性と美しさを備えた「匠階段」

階段には木の風合いが際立つ「匠階段」を採用。伝統と機能性、美しさを兼ね揃えたグッドデザイン賞受賞のオリジナルデザインです。

宮原展示場の近隣には、与野展示場（太陽光発電の家）カタクラ展示場（大収納のある家）があり、それぞれの異なるコンセプトで相乗効果を生み出し、お客様の多様なニーズに応えられる最適な住まいづくりを提案してまいります。なお、同日には2つの新展示場「藤沢展示場」「豊橋展示場」もオープン致します。